

# がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です  
プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	Nedaplatin+CPT-11
診療科名	産婦人科
診療科責任者名	大塚 伊佐夫
適応がん種	子宮頸がん(再発orStage )
保険適応外の使用	有 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	Ut-10
登録日・更新日	2009年4月15日
削除日	
出典	Brit Jcancer 2004;91:1032
入力者	安室 修

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート			投与時間	施行日
No.1	カンプト	100mg	80mg/m <sup>2</sup>	IV	DIV	IVHポート 側管 その他( )	90分	Day1
	生理食塩液	500mL						
No.2	アクブラ	10、100mg	50mg/m <sup>2</sup>	IV	DIV	IVHポート 側管 その他( )	90分以上	Day1
	生理食塩液	500mL						

1コースの期間	28日
投与間隔の短縮規定	短縮可能( 日) ・ 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%
減量・中止基準	<p>【開始基準】 75歳未満 PS2以下 WBC&gt;3,000/mm<sup>3</sup> ANC&gt;1,500/mm<sup>3</sup> Plt&gt;10万/mm<sup>3</sup> T-Bil&lt;1.5mg/dL AST&lt;60IU/L (ALT&gt;100IU/L) BUN&lt;20mg/dL SCr&lt;1.5/dL</p> <p>【延期基準】 WBC&lt;3,000/mm<sup>3</sup> ANC&lt;1,500/mm<sup>3</sup> Hb&lt;8.0g/dL Plt&lt;10万/mm<sup>3</sup> T-Bil&gt;2.0mg/dL AST&gt;100IU/L ALT&gt;100IU/L BUN&gt;40mg/dL SCr&gt;1.5/dL 上記以外でGrade3(CTCAEv3.0)以上の有害事象発現</p> <p>【減量基準】 WBC&lt;1,000/mm<sup>3</sup> ANC&lt;500/mm<sup>3</sup> Plt&lt;2.5万/mm<sup>3</sup> のとき次コースは1段階減量 1段階減量 CPT-11:50mg/m<sup>2</sup> Nedaplatin:80mg/m<sup>2</sup> 2段階減量 CPT-11:50mg/m<sup>2</sup> Nedaplatin:70mg/m<sup>2</sup></p>
前投薬	5-HT3拮抗剤
その他の注意事項	<p>前治量(放射線含む)から少なくとも4週間経過してから開始すること アクブラ終了後に生理食塩液1000mLの投与を行う 少なくとも2コース実施しno change(NC)であれば中止する。 Grade4の好中球減少症もしくはGrade3の発熱性好中球減少症のときG-CSFを使用する。</p>

記入者	安室 修
確認者	大塚 伊佐夫